

# 令和7年度予算の概要

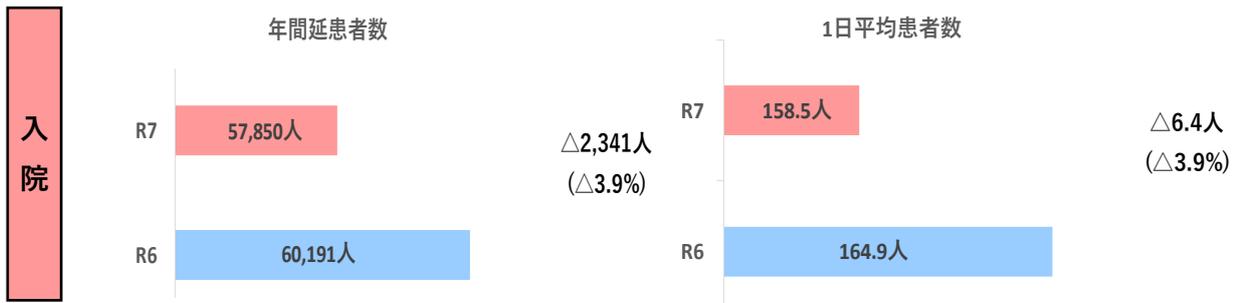
令和7年度予算では、診療収入において牡鹿病院で地域の人口減少などに伴い減少、また、市立病院で前年度実績と経営強化プランの値を踏まえた計上としたことから、収益的収入全体では、0.9億円の減少としています。

一方、収益的支出では、人事院勧告や定期昇給を踏まえ、給与費で0.6億円の増加としており、収益的収支の差引では、7.6億円の赤字を見込んでいます。

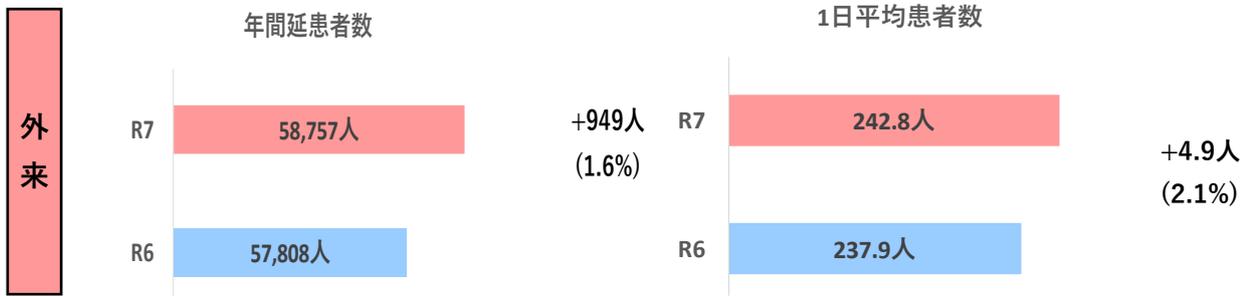
資本的収支では、資本的支出において、建設改良費が0.2億円増加しています。資本的収支差引では、0.6億円の不足を見込んでいますが、収益的収入の特別利益で補填します。

資金の状況としては、令和7年度において1.8億円減少し、過年度分と合わせた令和7年度末の資金残高は、2.5億円を見込んでいます。

## 1. 年間延患者数と1日平均患者数（当初予算比較）



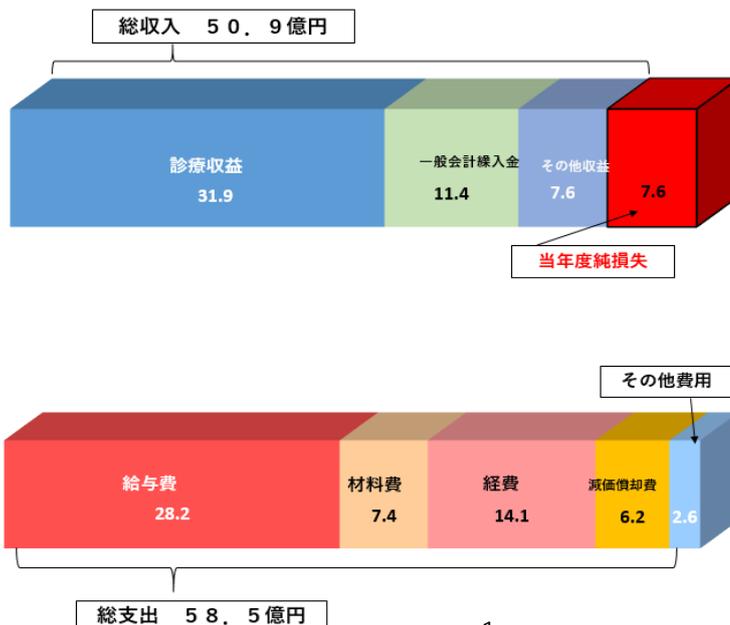
令和7年度は、前年度の決算見込などを踏まえ、年間延患者数は、2,341人の減少と見込んでいます。



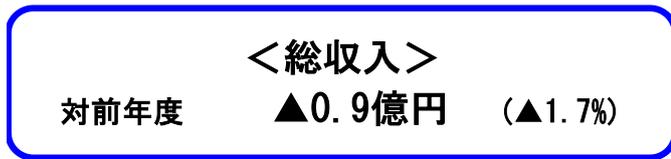
令和7年度は、前年度の決算見込などを踏まえ、年間延患者数は、949人の増加と見込んでいます。

## 2. 財政状況

(1) 収益的収支【経営に伴って生じたすべての収益とそれに対応する費用⇒1年間の経営成績】



## 【前年度との比較】



### <内訳>

◎診療収益 対前年度 ▲1.3億円  
主に年間入院患者数の減等に伴う収益減による。

◎給与費 対前年度 +0.6億円  
主に給与改定による給料、手当や退職手当組合負担金負担率の増による。

◎一般会計繰入金 対前年度 ▲0.9億円  
主に給与費に連動した繰入金の減による。

◎材料費 対前年度 ▲0.3億円

◎経費 対前年度 0.7億円

◎その他収益 対前年度 +1.3億円  
主に過年度損益修正益の増による。

◎減価償却費 対前年度 ▲0.5億円  
市立病院において、減価償却を終えた機器等の増による。

◎その他費用 対前年度 +1.5億円  
過年度損益修正損の増による。

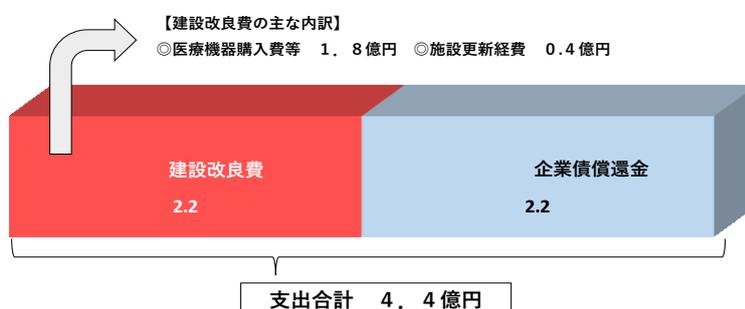


収益的収支は、前年度から2.9億円の悪化

### (2) 資本的収支【建物や医療機器などの整備費用とその財源、借入金の返済など】



※ 資金不足額0.6億円は、収益的収入の特別利益を原資とする資金で補填している。



(3) 資金状況

|        |        |
|--------|--------|
| 資金期首残高 | 4.3億円  |
| +      |        |
| 資金増減額  | ▲1.8億円 |
| +      |        |
| 資金期末残高 | 2.5億円  |



資金期末残高は、当年度純損失（7.6億円）が見込まれることもあり、前年度から1.8億円減少する見込みです。